



新型コロナウイルス情報

問い合わせ

草加市新型コロナワクチンコールセンター
☎0570-666-578

☎☎を含む午前8時30分～午後5時15分

3回目接種 接種券が届いている人は全員予約ができます!

2回目接種完了	接種券発送(予定)	3回目接種(目安)
～令和3年10月	発送済み	2回目接種から 6か月後
11月	令和4年4月12日(火)	
12月	5月中	

※発送予定日を一定期間過ぎても届かない場合は、コールセンター(☎0570-666-578)へ。

◆集団接種会場 アコスホールは4月末まで

5月からは、草加市文化会館、勤労福祉会館で引き続き実施する予定です。

◆草加市に転入した人へ

3回目接種には、接種券発行の申請が必要です。草加市以外で発行された接種券は使用できません。申請方法は市ホームページを確認してください。

1・2回目接種 予約受付中(日程・会場等は市HPを確認)

【接種会場】一部の個別・集団接種会場で実施

- ・12～15歳も集団接種会場の選択が可能に(接種時は要保護者同伴)。
- ・2回目接種のみの予約は、コールセンターへ ※システムでの予約は控えてください

5～11歳(小児)接種 4月中旬以降の予約受付中

【接種会場】個別接種会場(市内12医療機関) 集団接種会場5月1日(祝)開始

- ・2回目接種は、1回目の3週間後の同時間・同会場で自動予約されます。
- ・これから5歳を迎える人の接種券は、誕生日の数日後に発送します。
- ・もうすぐ12歳になる人は、5～11歳(小児)用または12歳以上用のワクチン(どちらもファイザー社製)を選択できます。※濃度や接種する量が異なります
- ・接種は努力義務ではありません。接種により期待できるメリットと、副反応等のデメリットを厚生労働省の情報等から考慮し、本人及び保護者の意思で判断してください。



▲厚労省HP

小児接種の
詳しい情報は
こちら



▲草加市HP

草加市の
予約などの情報は
こちらから

問新型コロナウイルス対策課☎922-1839☎927-0501

あなたは見る派? 体験派? スポーツを楽しもう!

健康づくりスポーツウォーキング大会

体力づくりに効果的なウォーキングで草加松原など市内各所を巡ります。途中のチェックポイントで草加の魅力を発見しよう!

- 日時 5月8日(日)午前9～10時集合・11時30分散
- 会場 まつばら綾瀬川公園
- 対象 小学生以上 ■定員 100人
- 持ち物 かっぱ(傘は不可)

☎4月6日(水)午前9時から記念体育館、市民体育館、そうか公園へ。
問草加市スポーツ協会☎928-6361☎922-1513

バドミントントップアスリート 試合観戦&講習会

市内に練習拠点を置くヨネックスバドミントンチームを中心とした女子実業団チームの高校生以上の若手トップ選手が集う大会の観戦と講習会。

いずれも会場は記念体育館。室内靴持参。

- 日時 5月1日(日)～3日(祝) 午前9時30分～午後1時30分、
午後2時～午後5時30分
- 5月4日(祝)～5日(祝) 午前9時30分～午後1時30分
- 定員 各回50人

試合
観戦

講習会

- 日時 5月4日(祝) 午後3時～4時15分
- 対象 小学4～6年生 ■定員 100人
- ☎4月6日(水)から電話で草加市スポーツ協会へ。
☎928-6361☎922-1513

できごと まちかど 3月

コンフォール松原・松原団地記念公園 グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」



グリーンインフラに関する優れた取り組みや技術、手法を表彰し、広く情報発信をする国土交通省による制度で今回が2回目。全国から応募された27件の中から「生活空間部門」にコンフォール松原・松原団地記念公園地域の取り組みが選ばれ、14日に表彰されました。同地域の前身である草加松原団地から50年以上かけ成長した樹木を継承してきたことや、自然度の高い雨水流出抑制施設、広場や公園の配置による多世代交流の場づくりが評価されました。

◆グリーンインフラ(グリーンインフラストラクチャー)とは?

自然環境や多様な生き物がもたらす資源や仕組みを、多様な課題解決に活用しようとする考えのこと。

清門小卒業式 校歌を手話で斉唱



清門小では、コロナ禍で活動制限が続く中、卒業生に最後の思い出を残したいと、草加市聴覚障害者協会及び手話友の会の協力で校歌の手話を製作。24日の卒業式で、児童たちは感謝の気持ちを込めて練習の成果を披露しました。卒業生の田澤怜大さん、神林純芽さんは「校歌を手話で歌えたことは6年生最後の良い思い出」「手話の手の動きで歌詞が思い浮かぶようになった」と話していました。

草加せんべい 文化庁「100年フード」に認定



文化庁では、地域の風土や歴史に根差し、世代を超えて受け継がれ愛されてきた食文化を「100年フード」と名づけ継承を支援しています。3日、草加せんべいが「100年フード《伝統の100年フード部門～江戸時代から続く郷土の料理～》」の認定を受けました(認定団体:草加せんべい振興協議会、埼玉県物産観光協会)。認定を受けて草加せんべい振興協議会豊田重治会長は「古くからの伝統を守り、作り続けてきた甲斐があった。これから100年先も続くよう誇りを持って頑張りたい」と喜びを語りました。